

NPO 法人言語発達障害研究会

国リハ式<S-S 法>言語発達遅滞検査講習会報告

日時：【オンデマンド講義】2025年10月18日（土）～2025年11月21日（金）

【ライブ質疑応答】 2025年11月22日（土）10:15～13:00

場所：オンライン（Zoom Workplace 使用）

2025年度は、国リハ式<S-S 法>言語発達遅滞検査講習会を開催しました。約1か月間のオンデマンド動画配信の講義と、オンラインによるライブの質疑応答を組み合わせた形式で実施し、全国各地から言語聴覚士、教員、保育士など82名の方にご参加いただきました。

オンデマンド講義では、<S-S 法>の目的や基本的な考え方、検査手順、評価用紙の記入方法などを、実際の検査場面や症例動画を交えて、丁寧に解説しました。参加者は、聞き慣れない用語や操作については一時停止や巻き戻しを活用しながら、自身のペースで繰り返し確認し、理解を深めることができました。

検査結果

- 受信 段階5-1（統語方略 語順）
- 発信 3語発話+、助詞「が・を」+
- ⇒生活年齢相応レベル



ライブの質疑応答では、日頃の臨床で生じやすい疑問や、判断に迷う点についての質問に、講師がスライドやマニュアルの該当箇所を示しながら具体的に解説しました。また、A群（音声受信未習得）のお子さんに対する検査結果の読み取り方や、訓練や日常支援へのつなげ方に関するミニレクチャーも行われ、参加者が支援の視点を共有する有意義な時間となりました。

アンケートでは、「実際の検査場面や教具操作のデモンストレーションがわかりやすかった」、「自己流で行っていた部分を見直すきっかけになった」、「オンデマンドで自分のペースで学べた」といった感想が多く寄せられました。

本講習会を通して、<S-S 法>を「検査」として学ぶだけでなく、お子さんの反応を丁寧に捉え、訓練や生活場面での支援へと結びつけていく視点を改めて共有するよい機会となりました。



<参加者の声>

- 関東まで足を運ばなくても、地元で講義に参加できることと、自分のペースでビデオ視聴できるところが進めやすかったです。わかりにくいところは再度確認できてよかったです。
- <S-S法>についてほとんどわからない状態であったため、今回の講習を受けて大変勉強になりました。小児分野のSTにとって必須の知識かと思います。今回の講習を活かして、臨床を積んでいければと思います。
- 質疑応答は、他の人の疑問点を聞いて「あ！それ聞いたかった」ということもあります。とても有意義な時間でした。
- 最後に小寺先生にお話しいただいた、さまざまな教材や訓練の進め方も非常に勉強になり、もう少し詳しくお伺いしたいと思いました。スマールステップで、お子さんにとってできそうなところを積み重ねていくこと、お子さんが今どう捉えているのかを意識することが大切であることが分かりました。